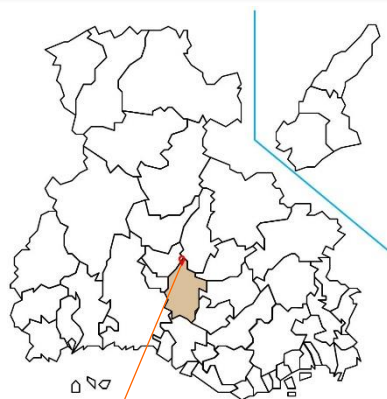


上万願寺町・下万願寺町

移住
定住

関係人口
の創出

農村環境景観保全



加西市



日本酒「朔」の田植えイベント



松明を振り回す鬼会（おにえ）の赤鬼



交付金を活用した草刈り活動

概要

- ・加西市の最北端、万願寺地区で人口減少等に強い危機感を持つ村の有志が、地域の活性化を目指し、2004年「原始人会」を設立し、農家レストラン等を運営。
- ・村の有志が新規就農希望者に対し、農業指導や農機具等の手配、井戸の掘削、生産物の活用、定住相談など無償で応援した結果、農業を志す若者が、各地から訪れるようになった。
- ・新規就農者たちが生産者グループ「農のクリエイティブ万願寺」を結成し、流通大手のバイヤーを現地に呼び、地域をまるごとPR。

成果

- ・新規就農者が作物のブランド化(絹里芋)や新品種の特産化(黒枝豆ひかり姫)の生産振興に取り組んでおり、絹里芋や枝豆は冷凍商品化に成功し販路を拡大した。
- ・国交付金を活用した集落活動で用排水路や住環境を良好な状態に維持している。
- ・国指定無形民俗文化財である「田遊び・鬼会」の伝統を継承しており、新規就農者(移住者)も集落の一員として活動に参画している。
- ・市内の酒蔵「富久錦」、インバウンド企業との連携により、日本酒「朔」を通して全世界を対象に関係人口の拡大を推進。「朔」はフランスで開催される日本酒コンクール「Kura Master」クラシック部門で2年連続プラチナ賞を獲得した。